

指定正味財産の増減が、貸借対照表の〔正味財産の部〕の〔指定正味財産〕の中科目に反映されません。

(画面例はすべて『PCA 公益法人会計 V.12』を使用しています)

以下の各設定等を確認してください。

【操作手順】

- ① 〔指定正味財産〕の中科目は、「前準備」－「主科目名・期首残高」にて登録してください。区分は〔4110〕を選択します。  
以下の画面例では、コード〔411：国庫補助金〕、期首残高〔5,000,000円〕で登録しています。

コード	主科目名	カナ	区分	組合せ	貸借	借方金額	貸方金額	借税	貸税
411	国庫補助金	コクホ	4110		貸方		5000000	00	00
413	地方団体補助金	チカダ	4110		貸方		0	00	00
415	民間補助金	ミンカホ	4110		貸方		0	00	00

- ② 「前準備」－「正味財産科目の設定」にて〔転記先科目〕を設定します。  
正味財産増減計算書〔指定正味財産増減の部〕の〔611：受取補助金等〕の中科目〔681：受取国庫補助金〕に、〔411：国庫補助金〕を設定します。

コード	科目名	転記先科目
661	受取補助金等	
681	受取国庫補助金	411 国庫補助金
682	受取地方補助金	413 地方団体補助金

③以下の仕訳を入力します。

平成 26 年 10 月 20 日 伝票番号 320

【法人会計】  
【税計算しない】

借方金額	借方科目	税 事業	摘 要	貸方科目	税 事業	貸方金額
1000000	111 現 金	00		661 受取補 助 金等	00	1000000
		000		681 受取国庫補助金	000	
1000000	合計		差額	0		1000000

伝票日付を入力します。年は自動で判定しますので入力する必要はありません。  
右クリックでカレンダーから選択できます。

1 ヘルプ 2 会計区分 3 4 税切替 5 更新 6 行挿入 7 キャンセル 8 参照 9 10 11 マスター 12 終了

伝票日付を入力します。年は自動で判定しますので入力する必要はありません。 1/200

④貸借対照表を出力すると、以下のように集計されます。

〔指定正味財産〕の中科目である〔国庫補助金 6,000,000 円〕は、①の期首残高 5,000,000 円に、③の仕訳の 1,000,000 円が加算されたものです。

資産合計	1,000,000
Ⅲ 正味財産の部	
1. 指定正味財産	
国 庫 補 助 金	6,000,000
指定正味財産合計	1,000,000
2. 一般正味財産	0
正味財産合計	1,000,000
負債及び正味財産合計	1,000,000

このように、〔411：国庫補助金〕は仕訳として直接入力はしませんが、「前準備」－「正味財産・基金科目の設定」で転記先科目に設定することで、〔指定正味財産〕の中科目として集計されます。